文協おおぶ

創立45周年記念号

【発行】大府市文化協会　大府市明成町一丁目330　愛三文化会館（大府市勤労文化会館）内　TEL（0562）48-6188

創立四十五周年を迎えるにあたり

大府市文化協会会長　舘内三郎

文化協会が創立四十五周年を迎えました。文化協会がこのように四十五年もの長い間活動できましたのも多くの文協役員の方々、そして文協会員の皆様の絶え間なる努力と協力の成果だと思っています。そして岡村市長様はじめ市の関係者の方々のご支援・ご指導に感謝申し上げます。

さて文協は、文協まつりや芸能祭を含め全部門での多くの文協主催事業を開催し、会員皆様の日頃の活動の成果を発表してまいりました。そして産業文化まつりや敬老会アトラクションなどの多彩な協賛事業に参加し、多くの方々に楽しんで頂きました。

平成十八年度からは、愛三文化会館の指定管理者となり、広く市民に愛され活用される施設となるよう運用改善を行ってきました。効率的運営改善により発生した余剰金は文協へ繰り出し、一部は文協主催事業の運営費用にあて事業内容の改善を図っています。そして、大府市民への還元として二つの事業を開始しました。一つ目は「趣味の入門講座」です。会の先生や会員が講師となり、芸能や文芸・園芸など多彩な分野で毎年二十講座以上の講座を開講し、多くの市民方に受講して頂いています。もう一つは「こども書初め大会」です。日本の伝統文化である書初めを、幼児から高校生まで多くの子供達に体験してもらっています。

新型コロナウイルスの感染が広がってからは、文協活動も休止せざるを得ない状態が続いていましたが、ワクチン接種や感染防止対策の充実により徐々に規模を縮小しながらも活動が再開出来るようになってきました。これからも会員の皆様と一緒になって文化の香りが漂う健康都市大府の一翼を担い、健康に留意しながら文化活動を継続しましょう。

私のモットーは、「明るく・楽しく・元気よく」です。五十周年・百周年に向けて頑張って行きましょう。

創立四十五周年を祝して

大府市長　岡村秀人

大府市文化協会創立四十五周年、おめでとうございます。昭和五十二年にレクリエーション協会の後を受け発足して以来、着実な発展を遂げ、大府市の文化芸術事業の推進に努めてこられたことに深く感謝と敬意を表する次第です。

文化協会におかれましては、文協まつり、芸能祭、歌謡祭などを開催するとともに、趣味の入門講座の開講、陶芸窯の開設など、市民が気軽に文化に触れる機会づくりに尽力されておられるとともに、平成十六年度より、愛三文化会館の指定管理者として施設運営に携わっていただき、重要な役割を担い続けていただいております。

将来の世代に文化の面で豊かな大府市を引き継いでいくためには、市民が力を発揮できる環境が欠かせません。年齢や性別、文化的背景の違いなどに関わらず、文化の主役は一人ひとりの市民です。文化活動を観て、学び、創り上げ、発信することによってお互いに認め合い、誰もが豊かに生きている社会を実現させる力を、文化協会の活動に関わる一人ひとりの皆様が備えていることを大変心強く思っております。

本市では、昨年一月に鈴木バイオリンの本社が八十五年ぶりに市内に戻ってきたことを契機に令和四年度から、鈴木政吉が夢見た「バイオリンの里」の実現に向けて、北山小学校でのバイオリンを使った音楽授業、スズキ・メソード出身で本市広報大使の水野紗希さんの小学校訪問コンサート、大府みどり公園野外クラシックコンサートなど文化の新たな魅力の創造・発信に取り組んでいます。大府市文化芸術振興指針２０２４に掲げた「つながる、ひろがる、胸を打つ、笑顔はじける　おおぶの文化」を目標に、多種多彩な文化活動を通して、特色ある文化が生まれる「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現を目指してまいる所存であります。

今後とも本市の文化芸術の発展に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。

大府市文化協会のあゆみ

大府市文化協会の設立

昭和四十年に発足したレクリエーション協会が十年間の活動を経て、昭和五十二年五月二十二日、中央公民館において大府文化協会発会式が、行われました。初代会長に島千広氏、副会長に大島鈴男氏が推挙され、会長・副会長に加えて、常任理事四名、幹事二名、理事八名によって事業の企画調整が行われていました。

加入団体は二十八団体、会員九百五十五名で、文芸部門・美術部門・音楽部門・芸能部門・園芸部門・茶華道部門・趣味第一・趣味第二の八部門で、大府市文化協会の活動がスタートしました。

令和四年度は会長と三副会長に加え、幹事三名、常任理事六名、理事九名で事業の企画調整を行ない、加入単体は九部門、四十四団体、会員八百三十四名です。

創立五周年記念となる昭和五十六年には前進座新見南吉劇場「ごん狐」と「花のき村と盗人たち」の公演、そして尾張部第十三回県文連芸能大会を市民ホールで行いました。

昭和六十一年の**創立十周年記念**にはドクトル・チエコ女氏の記念講演会と桂三枝落語独演会を市民ホールで行いました。そして平成三年の**創立十五周年記念**では鈴木尚が引き入るジャズインナゴヤビッグバンドによるジャズコンサートを、新装の勤労文化会館で行いました。

創立二十周年記念の平成八年には文協創立二十周年記念事業を第三回愛知県生涯学習フェスティバルということで、春風亭小朝落語独演会を行いました。そして芸能部の講師の方々による民謡や日本舞踊、舞踊、詩吟などの記念演舞を行ないました。

そして、創立二十周年記念誌「あゆみ」と会員名簿を発行しました。

平成十四年の**創立二十五周年記念**では記念式典と式典終了後のアトラクション（津軽三味線の演奏）を市役所多目的ホールで行われました。

そして日をかえて記念演劇公演として、大府演劇集団が井上ひさし作の「父と暮せば」を勤労文化会館で上演しました。

創立三十周年記念の平成十九年には記念式典と式典終了後の記念演奏（尺八と箏の演奏）が勤労文化会館で行われました。そして記念事業を二つ行いました。

一つ目の記念事業は第二十四回文協音楽祭「市民の第九」で、多くの市民の参加のもとに大府市勤労文化会館で行われました。

二つ目の記念事業は新城歌舞伎公演が勤労文化会館で行われました。この公演は文化庁の支援を受け、応募による大府の小学生が五カ月の稽古を積んで、大府こども歌舞伎が勤労文化会館の舞台で演じられました。

そして、創立三十周年記念誌「あゆみⅡ」を発行しました。

平成二十四年の**創立三十五周年記念**では式典終了後の記念アトラクションで名城病院の赤澤医師による講演とライブ演奏が行われました。

創立四十周年記念の平成二十九年には記念式典と式典終了後、国立長寿医療研究センター名誉総長の大島伸一氏による「老いを歓び・楽しく過ごすための処方箋」と題しての記念講演が行われました。

記念事業はアルケミストとセントラル愛知交響楽団、そして共長小学校六年生による「あの空コンサート」です。八十二名の小学生が半年にわたり練習を重ねました。

交響曲「あの空」では、最後のフレーズ“ラララ・・がんばれ　がんばれ”の部分の振り付けを児童たちで考えたものを取り入れ、児童たちの元気いっぱいの歌に、惜しみない拍手が送られました

創立四十五周年記念式典

☆式典日時　令和四年十一月二十日（日）

☆式典次第　開式のことば、会長式辞、表彰式、来賓祝辞、市民憲章唱和、閉式のことば

☆記念アトラクション

笑学生落語クラブの皆さんによる落語会

主催事業

文協まつり（文化展・芸能祭）

ゆとり&うるおいをスローガンに文協まつりとして文化展と芸能祭を同時開催しています。開催初日には、市長をはじめご来賓をお招きし文協まつり開会式とテープカットが行われ、華やかさに色を添えています。

文化展はくちなしホールと展示室で会員自慢の作品を展示しています。

芸能祭では、日々の練習の成果をもちのきホールで発表しています。

また、大府市茶華道連盟が呈茶席と華展を行っています。

さらに多くの市民の方に来館して頂き楽しんで頂こうと、体験コーナー、ロビーコンサートとスタンプラリーを始めました。

音楽祭

吹奏楽、合唱、ハーモニカ、マンドリン、管弦楽と多彩なコンサートを開催し、多くの市民の方々に楽しんで頂いています。

そして大府市音楽祭と共催の形で市民合唱団を結成し第九コンサートも開催しています。

また事あるごとに災害への募金活動も行い市民の皆様の善意の心を被災地へ届けています。

歌謡祭

出演者は華やかなステージ衣装を身にまとい、日ごろの練習成果ののど自慢を披露しています。そして毎回プロのゲストをお招きし、多くの一般市民の方にも楽しんで頂いています。

また大府市長には挨拶のあとに一曲披露して頂き会場を大いに盛り上げて頂きました。

社交ダンス交流会

市民参加のふれあいの場として社交ダンス交流会を行っています。

交流会は午前・午後の二部構成で、一部では初心者の集いとして市民の方が気軽に参加し楽しめる憩いの場とし、簡単なステップとリズムを音楽に合わせる練習を行います。休憩後の二部では、パーティー形式からワンポイントレッスンなど、交流と技術向上を目指して行っています。

また、大学生によるデモンストレーションも大人気でした。

趣味の入門講座

多くの市民の方対象に、気楽に趣味を楽しみたいと思っている方、チョッとだけ体験してみたいと思っている方に呼びかけて趣味の入門講座を開講しました。

各団体の先生や会員が講師となり、芸能や文芸等多彩な分野で毎年二十講座以上の講座を開講し、多くの市民の方に受講して頂いています。

子ども書初め大会

日本の伝統文化である書初めを、年の初めの恒例行事となるように子供を対象に書初め大会を企画しました。幼児から高校生まで多くの子供達に参加してもらっています。年代ごとに設定されたお題を自宅で十分に練習してきたようで、自信ありげに丁寧に書き上げていました。その後全作品は、ひだまりギャラリーに展示しています。

文協教室

以前は文化財展示会やオペラ・文楽などの鑑賞のポイントを解説する講座を開講していましたが、近年は絵手紙や俳句・版画・手彫りガラス・陶芸などの文芸教室を行っています。そして、この文協教室の受講者が中心になってクラブを結成し、文協の新団体として活動を継続しています。

研修旅行

地域の重要な施設見学に、ウインナ造り・紙漉き等の体験型研修旅行などを行ってきました。近年は、高野山や熊野古道などの古里や歴史文化施設等、時流に合った研修旅行を企画し好評を得ています。

文協おおぶ

平成三年から文化協会の機関紙として発行してきました。そして白黒刷りの機関紙をカラー化したり、みんなの広場のコーナーを設け、会員からの投稿の記載を始めました。また、団体紹介コーナーで順次団体を紹介していきます。発行回数を年二回から年三回へと増やし、より密に会員とのコミュニケーションが図れるようにしてきました。

協賛と支援

大府盆梅展

梅の花は春の訪れを告げる代表的な花です。大府の新しい観光行事拡大を願っていた大府市観光協会と意見が一致し、市民の方々に春の喜びを知っていただくために、大府市盆栽会が中核となって大府盆梅展が始まりました。大倉公園の管理棟の日本間と休憩棟を会場で、ほのかな香りが漂い優雅なひと時を過ごしていただいています。

この事業に共鳴した府柳クラブ・ことね会・大府市茶華道連盟が協賛に加わっています。府柳クラブによる梅を主題にした川柳に思わず微笑み、ことね会による琴と尺八の演奏にうっとりとし、大府市茶華道連盟による一服の抹茶をいただき一日を堪能していました。

つつじまつり

毎年四月下旬の土・日曜日に大倉公園と桃山公園で開催されるつつじまつりに協賛して、大府市盆栽会と府柳クラブは歴史民俗資料館内ロビーで山野草展と川柳展を行い、大府市民吹奏楽団は歴史民俗資料館前ステージで行われるサークル交流会で吹奏楽演奏を行っています。そして、大府市茶華道連盟は休憩棟で茶席を呈しています。

大府市産業文化まつり

大府市における産業と文化の振興のために昭和四十五年の市制施行と同時にスタートした大府市の秋の最大級のイベントである大府市産業文化まつりでの大府市文化協会の文化面における役割は絶大です。文化協会の団体が文芸・美術・趣味・園芸・生け花・吹奏楽演奏の分野で参加します。日頃の研鑽の成果と特徴を発揮できる場として参加団体の各会員は、この日に合わせて準備万端整えています。

そして、抹茶体験、瓢箪絵付け、アレンジフラワーなどの体験コーナーを開設し、川柳大会、短歌大会、俳句大会を開催します。

大府市敬老会アトラクション

大府市では、毎年九月の敬老の日の前後に敬老会を体育館で開催しています。その式典後のアトラクションに大府市文化協会の芸能部門に声がかかり、このアトラクションに出演することになりました。

大府ばやし・小唄保存会の踊りで始まり、続いて芸能と趣味の部門から代表団体を選出し出演します。アトラクションの最後には、市長や市議長・県議等大府市の名士による出演も恒例になり、会場を沸かせたり、笑いを誘う出し物を演じています。フィナーレでの大府ばやし・小唄保存会の皆さんを含めた大府ばやしの総踊りには、会場からも参加者が出るほどでした。

愛知県文化協会連合会関係

県民茶会

県民茶会は昭和四十六年に豊橋市より始まり、尾張部と三河部の二会場でに分かれて、各市町が持ち回りで開催されています。

平成十五年には大府茶会が大府市勤労文化会館を会場で開かれました。各々趣向を凝らした茶宴に多くの方々に満足していただきました。

大府市茶華道連盟では、隣接する市町で開催される茶会には大府席を担当し、秋の茶道の祭典の一役を担いました。

平成二十四年から茶会は尾張部と三河部で、隔年で開催しています。

県文連美術展

愛知県文連は、本県の美術文化の普及・振興をはかるとともに、次代を担う有為な新人の発掘を目的として美術展を開催しています。

大府市文化協会からも昭和五十二年の発足以来美術部門の方々が毎年精魂込めた作品を応募され、入賞・入選と好成績を挙げられています。

県文連知多部芸能大会

芸能大会は、愛知県文連が県内五地域において開催しています。各市町の伝統文化の発表と同時に、文化協会会員の日頃の練習の発表の場でもあり、文化協会相互の交流の場でもあります。

知多部芸能大会の主催は五市五町が持ち回りで行っています。平成二十六年には大府市文化協会が担当し、大府市勤労文化会館で盛大に開催されました。フィナーレでの引き継ぎ式では翌年の東海市へ県文連芸能大会の旗を引き継ぎました。

この知多部芸能大会には、音楽部門・芸能第一・第二・趣味・歌謡部門の各団体が出演しています。出演者の熱演がどの舞台でも発揮され、拍手大喝采でした。

大府市勤労文化会館の指定管理者に

大府市が大府市勤労文化会館の指定管理者を募集するとの情報があり、将来の文化活動の充実発展を図るためにもその活動の拠点の確保が必要ではと、文協役員会で度重なる討議をし総会で応募することが決定しました。そして、平成十八年度からの大府市勤労文化会館の指定管理者に大府市文化協会が指定されました。

二期目においても、一期目の実績が評価され任意指定により指定管理者を受託しました。今期より従来の精算方式が廃止され、効率的な財政運営に心がけた結果の余剰金を文協の予算に繰り入れることが出来るようになりました。この繰入金をもとに趣味の入門講座などを企画し、市民に還元するとともに文協運営に有効活用しています。

さらに、三期目の平成二十四年度からは、プロポーザル方式の公募制度が採用され、大府市文化協会と㈱ピーアンドピーの共同体で応募した所、指定管理者を受託することができました。三期目からは従来の会館の管理運営と合わせ、大府市音楽祭、大府市芸術祭、大府市合唱祭などの文化事業も実施する事になり、多彩な内容で多くの方々に楽しんで頂きました。受託事業以外に提案事業として、鈴木政吉生誕祭やおおぶ映画祭などを開催するとともに、ロビーコンサートや館内装飾を行っています。

大府市勤労文化会館の管理運営方針

会館は、市の文化振興の拠点として、市民に親しまれ、また、市民の心身の健康ならびに福祉の増進に寄与するために設置された公の施設であることを常に念頭におき、管理運営にあたります。

この五年間の活動概要

平成三十年度

・平成三十年度総会（四月二十八日）
　今年度から文化協会の事務局を担当して頂いた早川万里子さんが退任し新たに平野奈緒美さんが就任しました。
・第四十二回つつじまつり協賛
　（四月二十八日～二十九日）
・ゆとり&うるおい２０１８文協まつり
　（五月二十六日～二十七日）
・第四十二回芸能祭（五月二十七日）
・第三十四回文協音楽祭（七月八日）
・文協教室「ハーバリウム制作」
　（七月十八日、八月四日十九日）
・文協研修旅行（十月十八日）

ＮＨＫ人形劇「三国志」などで多くのファンを魅了した人形美術家の川本喜八郎人形美術館を見学し、大好評の酒蔵見学は喜久水酒蔵で見学と試飲を楽しみました。
　昼食はそば処伊那路で天婦羅盛そば定食を食べ、水引美術館を見学しました。
　この後、満蒙開拓平和祈念館を訪れ、女城主の里の岩村城下町の散策をしてきました。
・県文連知多部芸能大会：美浜町（十一月二十五日）
・大府市敬老会アトラクション（九月十五日）
・大府市産業文化まつり（十月二十七日～二十八日）
・第一回大府市子ども書初め大会（一月五日）
　文協の新しい企画として大府市在住・在校の幼児から高校生までの皆さんを対象に開催しました。作品は、ひだまりギャラリーに展示し、来館者に見ていただきました。
　「書初めを通して文字・言葉に触れ豊かな人間性を育み、伝統文化を守っていく。そして地域の人たちとの交流の場を広げる」を実践できました。
・第十八回ダンス交流会（一月六日）
・新年懇親会（一月二十一日）
・第二十八回大府盆梅展協賛（二月十日～十七日）
・第二十六回文協歌謡祭（三月十七日）

平成三十一年度

・平成三十一年度総会（四月二十七日）
・第四十三回つつじまつり協賛
　（四月二十七日～二十八日）
・ゆとり&うるおい
　２０１９文協まつり
　（五月二十五日～二十六日）
　今年始めてロビーでワークショップを二店舗開設しました。美しい花でハーバリウムを作ったり、ポーセラーツでは陶器に絵付け等して楽しみました。おかげでロビーは何時も賑やかでした。
・第四十三回芸能祭（五月二十六日）

・第三十五回文協音楽祭（七月七日）
・大府市敬老会アトラクション（九月十四日）
　大府市シティバレエの伊藤先生の指導で体ほぐれる簡単エクササイズを会場の皆さんが一緒になって行いました。
　そして恒例の来賓によるアトラクションでは、水戸黄門大府版を演じ会場を大いに沸かせました。

・大府市産業文化まつり（十月二十六日～二十七日）
・文協研修旅行（十一月十三日）
　高山朝市見学と高山街並見学の後、飛騨高山・円空の里・千光寺へお参りに行きました。
・文協教室「手彫りガラス」（十一月十日・十二月十五日）
・県文連知多部芸能大会：南知多町（十一月二十四日）
・第二回大府市子ども書初め大会（一月五日）
・第十九回ダンス交流会（一月十九日）
・新年懇親会（一月十九日）
・第二十九回大府盆梅展協賛（二月九日～十六日）
・第二十七回文協歌謡祭（三月一日）
　新型コロナウィルスの感染拡大の状況を考慮して、今年の開催を中止させて頂きました。

令和二年度

・大府市文化協会旗完成
　待望の大府市文化協会の旗が出来ました。文化協会の式典や事業開催時に掲揚し活用していきます。

・令和二年度総会（四月吉日）
　新型コロナウイルスの感染拡大防止と来賓及び会員の方々の安全を配慮し、今年度は書類審査で代行させていただきました。
・第三十回大府盆梅展協賛（二月七日～十四日）
・文化協会事業を中止
・趣味の入門講座
・２０２０文協まつり
・第四十四回芸能祭
・第三十六回文協音楽祭
・文協会員研修旅行
・文協教室
・第三回大府市子ども書初め大会
・ダンス交流会
・第二十八回文協歌謡祭
・県文連事業を中止
・県民茶会
・県文連知多部芸能大会

令和三年度

・令和三年度総会（四月二十四日）
　新相談役に井村鋼さんが、新副会長に森忠義さんが、新常任理事に山口賢一さんが就任しました。
・第三十七回文協音楽祭（七月四日）
　無観客で開催された文協音楽祭を、愛三文化会館ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにて配信しました。
・大府文化展（十月三十一日）
　今年は、産業文化まつり代替事業の大府文化展に作品展示しました。
・第三十一回大府盆梅展協賛（二月六日～十三日）
・第二十九回文協歌謡祭（三月六日）
・文化協会事業を中止
・趣味の入門講座
・２０２１文協まつり
・第四十五回芸能祭
・文協会員研修旅行
・文協教室
・第四回大府市子ども書初め大会
・ダンス交流会
・県文連事業を中止
・県民茶会
・県文連知多部芸能大会

令和四年度

・令和四年度総会（四月二十三日）
・第四十六回つつじまつり（四月二十三日～二十四日）
・趣味の入門講座開講（五月～七月）
・２０２２文協まつり（五月二十八日～二十九日）
・第四十六回芸能祭（五月二十九日）
・第三十八回文協音楽祭（七月三日）
・大府市産業文化まつり（十月二十九日～三十日）
・文協創立四十五周年記念式典（十一月二十日）
　アトラクション
　笑学生落語クラブの皆さんによる落語会
　文協四十五周年記念誌発行
・県文連知多部芸能大会：阿久比町（十二月四日予定）
・第五回大府市子ども書初め大会（一月五日予定）
・第二十一回ダンス交流会（一月一九日予定）
・第三十回文協歌謡祭（三月五日予定）
・文化協会事業を中止
・研修旅行
・文協教室

文化協会加入団体一覧

部門	団体名	評議員氏名
文　芸	府柳クラブ川柳会	神田　美明
	としのわ短歌会	坂野 弘子
	俳句　大福会	神谷 優
美　術	大府絵画パステルクラブ	成田 武文
	大府かな書道部	伴 恵
	大府市写真クラブ	加藤 政信
音　楽	大府混声合唱団赤とんぼ	山本 楯
	大府市民吹奏楽団	橘 由貴
	女声合唱団アマリリス	斎藤 千代
	大府市楽友協会管弦楽団	鈴置 千鶴子
	コーロ・ピアチェーレ	伊佐治 辰夫
	マンドリンアンサンブル・エーデルワイス	田中 真理
	ハーモニカ楽友会　ひびき	渡部 美智子
趣　味	大府ヨガクラブ	榊原 綾子
	ダンスレインボー会	森 京子
	大府マジッククラブ	深谷 友英
	大府市ハムクラブ	森 康二
	草木染　藍の会	柴田 ふさ子
	大府スクエアダンスクラブ	水田 雅穂
	健康（気功）太極拳　矢車草	天野 芳枝
	特定非営利活動法人TRILL	山田 大空
	TOUGEI	塗木 まり子
	フラハラウ　プエオ	室崎 和代

部門	団体名	評議員氏名
芸能第一	大府吟詠会	加藤 巧
	ひじり詩吟	浅田 圭一
	大府剣詩舞道部	竹内 久恵
	大府三曲会	山本 資恵
	大府剣扇クラブ	建部 真理子
芸能第二	睦　会	佐藤 晴子
	喜楽会	鈴置 美代子
	なごみ会	村上 恵子
	みどり会	外山 千代
	民舞の会	米津 淳子
	和太鼓 童子	水野 代志枝
	さんえん会	浅田 洋子
	民舞研究　舞	式庄 史子
園　芸	大府市盆栽会	大西 八雄
	大府愛瓢会	小島 要
茶　華	大府市茶華道連盟	福嶋 恵子
歌　謡	あけぼの会	肥後橋 衛
	明星会	濱嶋 由美
	カラオケ五郎＆花	吉田 弘子
	あゆみ会	河合　憲
	浜友会	鈴置 八恵子

役員名簿

役職名	氏名
相談役	大島 鈴男
相談役	森 誠一
相談役	井村 鋗
会長	舘内 三郎
副会長	長田 弘
副会長	太田 美由伎
副会長	森 忠義
幹事	柴田 ふさ子
幹事	鷹羽 律子
幹事	三澤 誠
常任理事	花井 博之
常任理事	山本 健三

役職名	氏名
常任理事	早川 広量
常任理事	黒田 多嘉子
常任理事	新美 美保子
常任理事	山口 賢一
理事（文芸）	神田 美明
理事（美術）	成田 武文
理事（音楽）	鈴置 千鶴子
理事（芸能第1）	加藤 巧
理事（芸能第2）	式庄史子
理事（園芸）	小島 要
理事（茶華道）	伴 恵
理事（趣味）	鈴木 君子

役職名	氏名
理事（歌謡）	小島 登
編集委員長	舘内 三郎
企画委員長	福田 恵治
文協まつり実行委員長	森 忠義
芸能祭実行委員長	仁田尾 道子
音楽祭実行委員長	村松 幹夫
歌謡祭実行委員長	小島 登
社交ダンス交流会実行委員長	森 忠義
会計監事	深谷 修久
会計監事	浜島 賢亘
文化推進員	平野 奈緒美